

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (東海)	◎	一般小売店〔土産〕（経営者）	・雨が降らない日が続き河川が平上がっている。一雨降れば、少々上向きになると期待する。
	◎	旅行代理店（営業担当）	・観光目的の団体旅行は9月中旬から増えてくる傾向があり、7～8月は一旦落ち着く時期だが、今年は猛暑で特に避けられている傾向があった。
	◎	美容室（経営者）	・10～11月頃には涼しくなり、年末を迎える前に髪を整えたいと考える客が増える。
	○	一般小売店〔結納品〕（経営者）	・秋になれば商店街に人が戻ってくる。
	○	一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・国内は政治の不安定さによる経済への影響、海外も特に米国の政策による経済への影響がどのように出るか読めない。
	○	百貨店（企画担当）	・これまで高額品や食料品は好調な一方で中間層向けの衣料雑貨の動きが鈍かった。今月になって、男性用、女性用共に衣料品の売上が伸びている。あらゆる商品の値上げが続いたため、生活防衛に対する反動の消費が出ている様子である。
	○	スーパー（経営者）	・猛暑が終わり少し涼しくなれば、来客数が増える。
	○	コンビニ（本部管理担当）	・厳しい残暑は、小売業の売上に良い影響を与える。気温が高くと、客が涼しさを求めて来店するため入店率が上がる。今年は残暑が続くと予想しており、その分小売業界の景気を押し上げる可能性がある。さらに、株価が4万円を超えるなど景気の安定も期待できる。
	○	衣料品専門店（店長）	・残暑により秋冬商材の売行きはやや遅くなるが、今後は消費者が暖冬に順応し、売れる種類は変わるが堅調に販売できると考える。
	○	衣料品専門店（売場担当）	・暑い時期はスーツを着ない人がほとんどで、半袖や七分袖のワイシャツ、中でもノーアイロンシャツがよく売れている。自宅で洗濯ができるソフトスーツなど単価が安くカジュアルに着られるものはこの夏も売れた。ただし、今後はきちんとしたスーツが欲しいという客も徐々に増えており、寒くなるとそういう需要が高まる。また、就職活動や成人式、卒業式に向けたスーツが動くようになるため忙しくなる見込みである。
	○	家電量販店（店員）	・超省エネ型のエアコンの人気の高い。
	○	家電量販店（フランチャイズ経営者）	・今年10月でパソコンの現行OSはサポートが切れるため、パソコンの購入が増えている。
	○	乗用車販売店（経営者）	・今後は気候も落ち着くため、客の動きが活発になることを期待したい。
	○	乗用車販売店（経営者）	・インフレ傾向のなかで車の値段も上がりつつあり、早めの買換えを促進している。金利の先高感もあり、販売には大きな伸びはないが、落ち込みもみられない。
	○	乗用車販売店（従業員）	・夏の猛暑が落ち着くことと、単価が安くてアクセス数が多い状況はこれから売れ出す傾向であるため、期待したい。
	○	乗用車販売店（従業員）	・これから秋に向かって景気対策が行われる期待がある。1つ歯車が回り、客の気持ちも前向きに変わっていけば、余裕が生まれ消費に前向きとなってくれと期待したい。しかし、生活防衛に明け暮れた状態が続くならば、本当に必要となる切羽詰まった状況になるまで購買意欲は現れないのではと危惧している。
	○	その他専門店〔雑貨〕（店長）	・もう少し気温が落ち着けば、店舗への集客が上がってくる。
	○	その他専門店〔書籍〕（社員）	・秋以降は新学期向けの販売量で増加が見込まれる。
	○	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・状態が落ち着けば良くなっていく。
	○	観光型ホテル（経営者）	・2～3か月先は秋の旅行シーズンを迎えるため、かなり以前から大口団体客の予約が入っており、やや良くなる。あくまで予約数から判断する予想で、秋口に実際の景気が良くなるとは限らないが、現時点では期待している。
	○	都市型ホテル（従業員）	・予約数から判断した。

☐	都市型ホテル（総支配人）	・宿泊予約が比較的好調である。
☐	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の影響からようやく抜け出した印象を受ける。ただし、海外旅行は地元空港の発着便は本数が少ないため、まだ期待ができない。
☐	旅行代理店（経営者）	・特に悪い材料が見当たらず、社会情勢も少し落ち着いているためやや良くなる。
☐	タクシー運転手	・今後は初秋から年末にかけていろいろなイベントや忘年会等での人出が必然的に多くなるため、現在よりも良くなる。
☐	テーマパーク（職員）	・秋になって涼しくなり、紅葉の時期に期待したい。
☐	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・年間で第2の繁忙期になるため、期待したい。
☐	商店街（代表者）	・変化する要因がない。歩きながら食べる商品は、単価を上げると2人で1品の購買になる。
☐	商店街（代表者）	・物価上昇が一概に悪いことではないと思うが、客の可処分所得の増加が追い付いていない印象を受ける。特に年金生活者を顧客に多く抱える地域電気店としては、販売に苦労する。
☐	一般小売店〔生花〕（経営者）	・しばらくは厳しい残暑が続く見込みで、物価の上昇も続いている限り余り期待はできない。
☐	一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
☐	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	・残暑が続く見込みで、相変わらず人出の鈍さが予想される。
☐	百貨店（総務担当）	・当地域は製造業に従事する客が多く、米国関税の影響が業績予想などにも現れているため、今後の消費にどう影響するかはっきりとは分からない。暑さも続く見込みで秋物衣料は苦戦が想定され、物価高に伴う価格改定が食料品の購買にも更に影響を与え、少しずつ消費を減らす動きも想定される。
☐	百貨店（経理担当）	・株高に伴う富裕層の消費の盛り上がりや最低賃金の引上げ効果などの好材料と、物価高の継続や米国関税政策に伴う企業業績の悪化などの悪材料が入り混じり、景気は一進一退の状況が続く。
☐	百貨店（営業担当）	・一般客に買上意欲の低下がみられ心配な面もあるが、富裕層の底堅い消費の動きは変わらない見込みであり、それほど変化なく現状が続いていく。
☐	百貨店（販売担当）	・物価高が続く限り大きな好転は見込めず現状維持である。インバウンドは単価の下落が懸念される。
☐	スーパー（店員）	・来客数も落ち着いてきており、冬の商戦を前に大きく変わることはない。
☐	スーパー（店員）	・暑さで野菜の価格が高騰し、卵の供給も増えないが、新米の販売開始に伴い現状を維持できる見込みである。
☐	スーパー（販売担当）	・年末に向けて、今の良い状態が続く。
☐	スーパー（販売担当）	・価格上昇が止まらないのは決定的で、節約志向が弱まることはない見込みである。高温傾向が続く予報のため、秋冬商材の動きに不安が残り、消費の突破口になりそうな新しい傾向の商品にも期待を持ってない。
☐	コンビニ（企画担当）	・やや良い状況が継続しており、この傾向に変わる兆しがないため、しばらく状況は変わらない見込みである。
☐	コンビニ（店長）	・新米が出始めて、価格はかなり上がりそうだが、消費者も食品の値上げに慣れてきて価格には鈍感になりつつあるため、大した影響はないとみる。
☐	コンビニ（エリア担当）	・秋になっても前年よりも気温の高い日が続くそうで、来客数も変わらず今の好調ぶりが続く。
☐	コンビニ（店長）	・8月に子供や学生の夏休み、帰省などで出費がかさんだ反動により、9月から11月はやや落ち着いた消費行動になる。景気は上昇も下降もせず、大きな変化は起きない。
☐	コンビニ（店長）	・先行きははっきりと読めない。ここ数か月先が読めないと回答してきたが、結果的には比較的好調に推移し続けている。よほどのことがない限り、悪くはならないと予想する。
☐	衣料品専門店（売場担当）	・景気が良くなるような要因がない。
☐	家電量販店（営業担当）	・政治の動きをみていると、当分は良くならない。

☐	乗用車販売店（営業担当）	・物価高が続いているが、賃上げやボーナスアップで手取り額も増えているため、このまま現状のままである。
☐	乗用車販売店（経営者）	・特に変化はみられない。
☐	乗用車販売店（経営者）	・今の状況が大きく変化する要因がない。
☐	乗用車販売店（従業員）	・今後も販売停止の車種が多く、解消は見込めない。欲しい車を買えない、売れない状況が続くため、販売台数は多くは見込めない。
☐	乗用車販売店（従業員）	・急激に賃金は上がらないため、まずは米の価格を始め物価の動きが落ち着かない限り厳しい。物価が少し落ち着けば、年末に向けて景気が良くなることを期待したいが、現状のまま変わらない見込みである。
☐	乗用車販売店（営業担当）	・猛暑が続くなかわざわざ車を見に来る人が少ない。この先は増えてくる見込みだが、来店につながるような新しいトピックもなく、新車の販売が伸び悩み、しばらく現状が続きそうな気配である。
☐	住関連専門店（営業担当）	・企業の職場環境改善や新規需要に対応する業務改革のための中規模の改修工事が多くなっている。住宅需要においても、新築工事は減っているものの、マンションでのリノベーション工事が増えている。
☐	その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・米国の関税政策や物価高騰の影響を見極める必要がある。
☐	高級レストラン（経営企画）	・外食需要は、特に日常での利用は比較的好調に推移しているが、高価格帯については節約志向の影響が控えている様子が見受けられる。
☐	一般レストラン（経営者）	・物価と税金の高さが問題である。
☐	観光型ホテル（支配人）	・7月に日本で大地震が発生するという風評が広がり、インバウンド利用が大きく落ち込んだが、その影響がしばらく続く見込みである。
☐	都市型ホテル（経営者）	・インバウンドの動きに一時的な減少があったものの、先行きの動きは問題なく、現状のままである。
☐	都市型ホテル（営業担当）	・製造業に米国の関税の影響がどのような形で出てくるのか分からない。足元の予約状況は良い状態で推移している。
☐	旅行代理店（経営者）	・消費が物価高騰に左右される状況では、レジャーなどの余暇を楽しむのは高所得者層に限られる。旅行も物価上昇に伴い、クルーズ船などの全食事付きやオールインクルーシブのホテルなどが人気である。
☐	旅行代理店（経営者）	・米国の関税の影響で企業の業績が伸び悩み、飲食料品の値上げは引き続き進んでいる。一方で、高級品スーパーにおいても価格が以前よりも下がっている。また、利用客も値引きが始まる時間帯に増えるのが顕著に表れている。
☐	通信会社（企画担当）	・物価高や米国関税への政府の対応など不確定要素が多すぎて上向き状況ではない。
☐	通信会社（営業担当）	・エンドユーザーで状況が良くならない限り、景気が上向き理由が見当たらない。
☐	テーマパーク（職員）	・政治や株式相場が不安定である。
☐	テーマパーク職員（総務担当）	・猛暑であっても、事前に客への周知が行き届いた催事等の開催日は一定数の入園者数を確保できた。今後は多数の秋季イベントが企画されており、PRを一層強化して引き続き例年以上の集客を目標としていきたい。
☐	ゴルフ場（経営者）	・入場者の予約状況は堅調に推移している。
☐	パチンコ店（従業員）	・今後も売上に貢献できる機種の導入は見込めない。
☐	美顔美容室（経営者）	・キャンペーンセールが年末まで続く。
☐	美容室（経営者）	・中小企業を始め多くの企業では賃上げが物価高に追い付かない様子で、この状況が当分続く。
☐	住宅販売会社（従業員）	・当分このままの状態が続く。
☐	その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・住宅案件は減少気味だが、企業の設備投資案件が増えてきている。
☒	商店街（代表者）	・自動車メーカーの利益が大きく減っているなかで、関連企業や地域への波及が現れてきており、景気は下向きになる。

▲	百貨店（売場主任）	・紳士靴においては、季節が変わっても靴を変えるという人は余りいないため、秋になっても売上は厳しい状況が続く。メーカーも余り在庫を持たない様子で、商品がない場合はメーカーではなく他店舗から取り寄せる形になり、商品がぐるぐる回るだけで売上は伸びない。
▲	百貨店（営業担当）	・株価と景気がバランスをとっていないため、株価が下落し始めると、景気が悪くなる。
▲	百貨店（販売促進担当）	・お盆休みは来客数、売上共に好調だったが、その前後はインバウンド売上の低迷もあり勢いがみられない。今後もこの傾向が続く見込みである。
▲	百貨店（販売担当）	・充電器や電池の発火事故報道が影響し、ハンディファンの売上が下がった。特に最大のピーク期で影響が大きかった。20代までのケア用品の購買意欲は変わらず高い。
▲	スーパー（店長）	・9月以降に値上げ予定の商品が多く、各社での価格競争が更に激化する。
▲	スーパー（店長）	・夏が長くなり秋がほとんどないため、秋物商材が動かない。
▲	スーパー（店長）	・最低賃金は上がっても所得は変わっておらず、今後も商品の値上げが続くことで買い控えは更に進む。
▲	スーパー（店員）	・多少暑さが和らぐことに期待したいが、大手チェーンによる仕入れ確保の影響で、卵の価格は高止まりを予想している。猛暑の影響で、トマトなどの野菜類も価格が落ち着くどころかまだ上がると市場関係者から言われているため、心配が多い。
▲	スーパー（店員）	・担当カテゴリでの特需が一段落し、厳しい状況を迎える。
▲	スーパー（支店長）	・連日の猛暑に加え、原料値上げによる物価高騰が依然として続くなか、客の購買意欲も上がらない状態が今後も続く。早く経済対策を打ってもらい、景気の底上げを期待したい。
▲	コンビニ（エリア担当）	・最低賃金の引上げが加盟者の利益を大幅に毀損し、現在のビジネスモデルは存続が危ぶまれる。
▲	コンビニ（店長）	・価格改定が続いており、主力商品などでは前年と比べてかなりの値上げが発生している。その影響で買い控えが発生する不安がある。
▲	コンビニ（商品企画担当）	・大阪・関西万博の閉幕に伴い新幹線での移動が一旦落ち着くと見込まれることから、来客数も落ち着く。
▲	衣料品専門店（販売企画担当）	・介護衣料品の交換ペースが落ちている。
▲	乗用車販売店（従業員）	・客の会話では、暑くて出掛けたくないという話が多い。実際に、買物など必要最低限の移動しかしないとのことである。営業時間である日中に客の動きが少ないことは良い材料ではない。本来であれば暑さが和らいでくる季節であるが、残暑が厳しいという予報で、影響が懸念される。
▲	乗用車販売店（販売担当）	・車両本体価格が上がっているため、客の買い控えが多くなっている。車検のタイミングで新車に乗り換えることなく車検を通す人も多くなっており、販売促進ができていない。
▲	一般レストラン（経営者）	・所得の増加はない一方で物価の上昇は続き、消費者はへき易している。
▲	一般レストラン（従業員）	・年末まで特にイベントが減ってきている。
▲	その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・円安による仕入価格の上昇は、何とか乗り越えている取引先が多い。しかし、人材不足や最低賃金の引上げを大きなリスクと捉える取引先が多く、事業内容や営業時間を縮小する動きが見られる。
▲	旅行代理店（営業担当）	・百日咳や新型コロナウイルス感染症など感染症が広がり始め、熱中症などもあり旅行を中止する人が徐々に増えている。コロナ禍の3年間の再来にならないことを願うばかりである。
▲	観光名所（案内係）	・秋を迎えるが値上げのニュースばかりで、先行きの景気は悪くなる見込みである。
▲	パチンコ店（経営者）	・2～3か月先は毎年売上が悪くなる時期であるため、ここをどう乗り切るかが課題となっている。
▲	理美容室（経営者）	・客との話では物価が上がるばかりで賃金は上がらないという声が多く、景気は悪くなる。

	▲	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・ レンタルベッド分野の新商品が発売される。出荷は期待できるが、従来機種に比べると利益率が低くなるため、業況の改善は見込めないと想定している。
	▲	設計事務所（職員）	・ 米国の関税問題や円安が進む傾向から、景気が良くなる様子はみられない。
	▲	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・ これ以上物価高が続くと、補助金を使ったリフォームでも施主の負担が増え、思うようには工事ができなくなる。1 件 1 件の調整に時間が掛かり、利益が取れない仕事が増えることになり、ますます今後の見通しが立たない。
	▲	その他住宅〔展示場〕（従業員）	・ ゲームチェンジャーがないと状況は変わらない。
	×	商店街（代表者）	・ 米の価格が非常に高くなり家計のやりとりが苦しいなかで、新米もかなり値段が高くなる様子である。現状と変わらず苦しい状況が続く。
	×	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・ 10月にアルコールやソフトドリンク類の値上げが予定されている。ニュースなどに取り上げられると消費者は敏感に反応するため、飲食店への来店が控えられ、飲料の販売は激減する。
	×	コンビニ（店長）	・ 米の価格が高止まりし、猛暑の影響で野菜の価格も上がっている。9 月から10月に値上げする商品が相次いでいるため、更に節約志向が高まる。
	×	衣料品専門店（経営者）	・ 残暑が続くため、夏素材で秋色の品物をそろえている。単価は低いですが、それでも目先を変えることですぐに着られる洋服を購入してもらえるよう画策している。
	×	タクシー運転手	・ 相変わらず景気対策が具体的にみられない。
	×	美容室（経営者）	・ 多少の減税や何らかの対策がなければ、このままではずっと景気は回復しない。
	×	設計事務所（経営者）	・ 足元の仕事がなく、2～3か月先は見通せない。
	×	住宅販売会社（経営者）	・ 米国との貿易摩擦により大きく左右されるため、今後の見通しが立たず、先行きが不安である。
	×	住宅販売会社（従業員）	・ 借入金利の上昇や資材価格の高騰などのマイナス材料しか見当たらず、良くなるとは到底思えない。
企業 動向 関連 (東海)	◎	*	*
	○	窯業・土石製品製造業（社員）	・ 新規の引き合いが増え始め、We bからの問合せも増えている。成約率も高くなっている。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・ 年末にかけて客先業界の設備投資が増える傾向にあるため期待したい。また、足元で自社製品の見積りが結構出ているため、やや良くなると判断した。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・ 例年は秋に販売量が増加するが、今月に入って原材料値上げの申入れがあり、製品への価格転嫁は非常に難しいため採算が不安定となる。
	□	化学工業（営業担当）	・ 生成A I 向け電子材料薬品の好調が続く見込みである。
	□	化学工業（総務秘書）	・ 特段景気に大きな影響を与えるトピックがない。株価の高値は理由が分らないが、N I S A以降の投資ブーム到来の雰囲気は好況感を漂わせている。米国の関税は厳しいが、15%に収まったことから何とか乗り切れると期待している。
	□	一般機械器具製造業（経営管理担当）	・ 受注量と販売量の見込みから判断した。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・ 余り変化はない見込みである。
	□	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・ 生産計画での生産数がやや上がっているが、右肩上がりではなく、少し上がった後は横ばいとなっている。
	□	輸送用機械器具製造業（管理担当）	・ 米国の関税は影響が分らない。引き続き値上げに加え猛暑で電気代が心配である。
	□	建設業（営業担当）	・ 一般家庭からの受注も、物価高や人件費増加で見積金額が予算オーバーとなり、なかなか商談成立に至らない。公共の仕事でも、予算があるなかで更に削られていることが多く、売上の増加は物価高により上がっているだけで、実際の実入りは少ない。
	□	輸送業（従業員）	・ 業種によって一時的に忙しい荷主はあるが、結構波があり計画が立てにくい。荷主に理由を聞いても分からず、来年もどうなるのか不透明な様子である。したがって、運賃改定の話もなかなかしづらい。
	□	輸送業（従業員）	・ 物価上昇に対して実質賃金は上昇していないため、個人消費も伸びない。

□	輸送業（エリア担当）	・配達個数は微増である。配送単価は上がると言っていたが、なかなか上がらない。トラック新法で運送原価がどのように変わるか期待している。
□	通信業（法人営業担当）	・企業が投資体力を蓄えながら、時代になかった環境を整えることは至難である。取引先には、場当たりのでも今必要な環境を整え状況を静観する様子が多く見受けられる。
□	金融業（従業員）	・物価の上昇は続いており、米価格も上がると予想されることから、身の回りの生活はまだ厳しい状況が続く。
□	金融業（企画担当）	・中小企業にとっては、原価上昇分を受注価格に十分転嫁できて、従来程度の利益確保が必要である。賃金も可能な限り上げているものの、大手ほどではない。賃上げが中小企業の隅々まで浸透しないと個人消費も伸びず、景気は良くならない。
□	不動産業（経営者）	・今後は例年よりも晴れの日が多くなりそうであり、外出や遠出をする人は増加する見込みである。今後も売上の増加傾向は継続し、前年を上回る状況が続く。
□	広告代理店（制作担当）	・秋に向けて気温が下がってくれば、人の流れも増えてくるため、旅行関係や娯楽施設等の広告受注も増えると期待する。
□	新聞販売店〔広告〕（店主）	・我が国は農産品の自給率が低く輸入に頼る割合が高いため、円安の影響で食料品などの価格上昇が続く。
□	公認会計士	・米国との関税交渉は合意を得たものの、国内政治が不安定な状況が続き、様子をみている企業が多い。個人消費は、国内の政策次第で大きな影響があるため、現時点で良くなるとは言い難い。季節需要が活発な企業については、9月、10月と売上は減少に向かうため、今後も余り変化はないことが予想される。
□	会計事務所（職員）	・観劇のチケットが取りにくい状況が続いている。値段は上がっているが、捻出するために節約もしている。支出に回せる総額はそれほど変わらないため、景気全体としては変わらない。
□	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・我が国は米国の関税政策に振り回されている。企業としては新商品や新規客の開拓が必要であり、開発5年目になる商品が完成に近づきつつある。
▲	食料品製造業（社員）	・米の価格を始めとして製造原価が上がるため、商品価格の見直しを実施予定である。それにより販売量の低下が懸念される。
▲	食料品製造業（営業担当）	・受注量、販売量共に減少傾向にある。
▲	金属製品製造業（経営者）	・引き続き引き合いが減少しており、受注量の減少が進む。
▲	金属製品製造業（従業員）	・秋以降、仕事量の動きは鈍いという声が多い。
▲	一般機械器具製造業（営業担当）	・米国の関税が上がり米国内で部材や材料費が高くなっているため、設備投資を控える動きが出てくることが予想される。
▲	電気機械器具製造業（企画担当）	・米国との関税問題はいつまでも解決せず、減税や公共投資などの政策が実施される様子もない。
▲	電気機械器具製造業（経営者）	・米国の関税の影響で受注量の減少が見込まれる。
▲	建設業（役員）	・物価高に対して所得が追い付いていない。周囲ではこれから大学生になる子供のいる世帯が多いが、住宅ローンと学費を払うだけで精一杯で、趣味や食事に金を掛けられない。
▲	輸送業（経営者）	・前年からの人件費、その他コストアップに対する価格改定が十分に進んでいないなかで、更なる賃上げやコストアップ要因が利益を押し下げる。
▲	輸送業（従業員）	・足元では倉庫における保管在庫量は好調に推移しているが、夏休みが終わり通常シーズンになるにつれ、消費が伸び悩み在庫量も減少する見込みである。
▲	輸送業（エリア担当）	・米国の関税政策による。
▲	通信業（総務担当）	・米を始めこの秋も物価高になると容易に想像できる。減税策もそれほど効果が期待できず先行き不安が募る。何かもっと明るいニュースが欲しい。

	▲	金融業（従業員）	・今苦しんでいるのは消費者や中小企業で、どんな状況でも守られるのが大企業という実態を見聞きすることが多くなっている。経済に関して先行きを不安視する声がとても多い。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・物価が上がり、手取りの賃金は上がらない。手取りが多少上がったとしても、それ以上に物価が上がっているため買い控えるという流れが発生している。物価上昇が止まり賃金は上がれば、購買意欲も高まる。
	×	鉄鋼業（経営者）	・基本的に良くなる要素が全くない。受注も引き合いも低調のままで、先行きの話もない。
	×	会計事務所（職員）	・米国の関税の影響で主要顧客から通達があり、秋以降の売上減少が予想されるため、対策に奔走している。売上を補填するため、関税の影響を受けていない客と新規契約を結ぶようにしているが、売上につながるまでに長くて半年の期間が必要であるため、かなり厳しい状況である。
雇用 関連 (東海)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	・例年、8月末より登録者数が増える。
	○	職業安定所（職員）	・新規求人数が前月比、前年同月比共に増加している。
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	・下期に向けて異動が活発になり、お盆明け以降に活動意欲が高まる求職者の応募が、10月以降は増加する見込みである。
	□	人材派遣会社（社員）	・今月も良かったが、この先の予約状況も良い。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・業種や企業規模により人手不足が深刻化しており、派遣社員の直接雇用が増加傾向にある。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・派遣社員の正社員化が増え、1月や4月には直接雇用切替えによる手数料は増加する見込みである。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・消費税減税をする以外に景気回復の見通しは立たない。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・自動車関連メーカーには米国関税の影響が少なからずありそうだが、新規開発を中止するまでは及んでいない。現状の人員数は維持される見込みで、今のところ新規の引き合いも鈍化してはいない。
	□	アウトソーシング企業（エリア担当）	・米国の関税は、最悪の状況は避けられたが、自動車製造関連へ人材供給を行う企業にとっては、生産減少が予想され厳しい状況になる。新型車種及び国内新車販売に期待したい。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・商品の値上げが消費者の懐を直撃しているが、企業もそこまで利益を出せていない状況である。株価は上昇しているが、政治的な動きに左右されているように見受けられ、経済の実体と合っていない印象を受ける。
	□	職業安定所（職員）	・求人者からは人手不足という声があるが、物価高や米国の関税問題、最低賃金の引上げによる企業への負担増加から、見通しは不透明である。
	□	職業安定所（職員）	・米国の関税や最低賃金引上げ等の不安材料はあるが、新規求人数や新規求職件数については変化がない。
	□	職業安定所（職員）	・中小企業において、原材料費、燃料費、運送費などの各経費の高騰により、人件費に費やす予算の捻出が困難になっている産業が引き続き見受けられる。一部業種での人手不足はかなり深刻となっているものの、物価高騰に伴う国内の消費動向の停滞や米国関税の影響を懸念し、受注などが堅調に推移している産業で人手不足が生じていても、新たな求人提出を控え、様子見をしている企業がある。この先の経済動向が予測できない状況ではあるものの、現段階において大きな生産調整や雇用調整などの情報は入っておらず、当面、景気動向の大きな変化は生じないと判断する。
	□	職業安定所（職員）	・受注量の減少などについて、米国関税による影響が間接的に出ていると不安視する声がある。物価高や連日の猛暑により、消費の増減が顕著になっていることも懸念される。最低賃金の引上げや物価高騰の継続もあり、大きな変化は期待できない。
	□	職業安定所（職員）	・特に大きな変動はみられない。
	□	民間職業紹介機関（窓口担当）	・大阪・関西万博の閉幕時期を見据え、派遣期間の区切りを迎えるスタッフのキャリア支援などが加速化してきたことで、特に関西地方での人の動きが活発となるものの、当地域における求人においては、例年どおりの動きである。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・現時点で、新卒求人に対する変化の兆候がみられない。

	□	学校〔専門学校〕（就職担当）	・前年同期と比較して内定状況に変化はなく、採用先にも特段の変化はみられない。また、追加募集的な依頼もないため、雇用事情は例年並みと実感している。
	▲	人材派遣業（営業担当）	・最低賃金の引上げによる人件費の更なる増加に対して、生産性向上へ向けた戦略が整っておらず、企業の利益を削って人件費を確保する傾向に動く。
	▲	職業安定所（職員）	・物価高の影響が徐々に顕在化していることやコロナ禍でのライフスタイルの変化が事業収益に大きな影響を与える。その変化に対応できる事業所は多くない。
	×	—	—